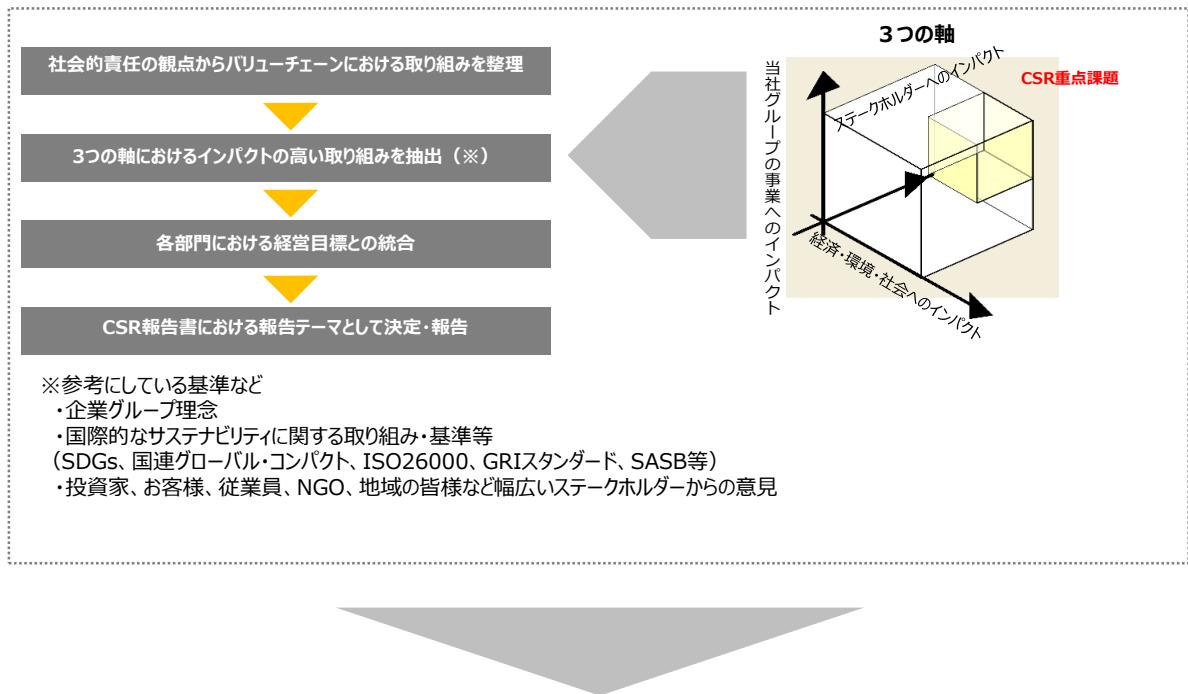


# CSR課題の特定について

日本製紙グループでは、社会的責任の観点から、バリューチェーン全体における取り組みを整理し、さらに、①当社グループの事業、②経済・環境・社会、③ステークホルダーのそれぞれに対してインパクトが高いと考えられる取り組みを次のとおり特定しています。



「CSR報告書2020」では、ISO26000の中核主題にかかる当社グループの取り組みの中から、上記により特定された取り組みを中心に、2019年度の活動状況を報告しています。

ISO26000中核主題 (社会的責任)	3つの軸においてインパクトが高い取り組み	主な影響範囲	掲載ページ
組織統治、公正な事業慣行 (経営に関わる責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>コンプライアンスの徹底</li><li>ステークホルダーとの対話</li></ul>	社会	P.15
環境 (森林経営・原材料調達に関わる責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>持続可能な原材料調達</li></ul>	自社林周辺の住民 サプライヤー	P.28
環境 (環境に関わる責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>気候変動問題への取り組み</li><li>リサイクルの推進</li><li>生物多様性の保全</li></ul>	生産拠点周辺の住民 サプライヤー	P.39
消費者課題 (お客さまに関わる責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>製品の安全性向上</li><li>製品の価値向上</li></ul>	お客様	P.56
人権、労働慣行 (人権と雇用・労働に関わる責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>労働安全衛生</li><li>活力ある組織づくり</li></ul>	請負業者 サプライヤー	P.65
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展 (地域・社会への責任)	<ul style="list-style-type: none"><li>地域・社会との共生</li></ul>	生産拠点および 自社林周辺の住民	P.80